

倉敷芸術科学大学 大学運営に係る各種基本方針

倉敷芸術科学大学（以下、本学という）は、ミッション並びに目的等の実現に向け、以下のとおり、大学運営に係る各種基本方針を定める。

1. 教育に関する基本方針

- (1) 本学は、ここに学ぶ学生一人ひとりの潜在能力を引き出し、個性を活かしながら、教養の涵養、専門能力の向上、そして人格の陶冶を促進する教育を行う。
- (2) 本学の教員は、基盤となる教員個々の能力に加えて、チームとしての教育力を増強し、教職員が一体となって学生の指導にあたる。
- (3) 本学の教員は、一人ひとりが教育目標を保持し、高い見識と情熱を持って、地域社会に貢献する人材の育成に努める。
- (4) 学生一人ひとりが、主体的に学ぶことができるように、教育方法や評価活動の改善を支援する。
- (5) 学生生活支援、就職支援により、学生の人間的成長と自立を促し、卒業後の人生設計を描けるように、教職協働支援体制を充実する。

2. 研究・創作に関する基本方針

- (1) 地域社会の発展に資するとともに、教育の支えとなる研究・創作活動を支援する。
- (2) 芸術と文化の街という倉敷の世界的なイメージを大切にし、地（知）の拠点「COC」大学として、教育、研究・創作活動の成果を発信する基地となる。

3. 社会連携に関する基本方針

- (1) 地域の活性化、地域教育の発展に寄与するために、本学の教育、研究・創作成果を地域社会に還元するとともに、世界に向けて発信する。
- (2) 地域に期待され、愛される大学を目指し、地域の行政や産業界、諸団体と連携交流を深める。

4. 内部質保証に関する基本方針

- (1) 随時、外部の意見を取り入れながら、内部質保証を自らの責任において自律的に進行させる。
- (2) 教職員の総合力向上のための方策を検討し、計画的にFD、SD研修を実施する。

5. 経営基盤の安定化に関する基本方針

- (1) 経営基盤の安定化に向け、教育、研究・創作組織の編制方針に沿った検証を継続する。
- (2) 地域における肯定的なブランドイメージ及び信頼感を確立するために、最大限の努力を払う。
- (3) 持続的な発展のために、社会及び時代のニーズの変化等も見据えて、組織、財政において経営基盤安定化に向けた体制を構築する。

6. 改廃

この各種基本方針の改廃は、大学協議会の審議を経て、学長が決定する。

附則

この各種基本方針は、平成29年 7月12日から施行する。